

有識者会議委員長 牧 山 正 男 様

阿見町長 千 葉 繁

第 3 期阿見町総合戦略及び人口ビジョンについて(諮問)

第 3 期阿見町総合戦略及び人口ビジョンを策定したいので、有識者会議要綱第 2 条の規定により意見を求めます。

諮 問 理 由

我が国が直面する人口減少・少子高齢化及び地方創生という構造的課題に対し、町としての施策を総合的かつ計画的に実施していくため、まち・ひと・しごと創生法第 10 条第 2 項に基づく「第 2 期阿見町人と自然が織りなす輝くまち創生総合戦略」を令和 2 年に策定し、「町民の雇用機会の創出と確保」、「町へのひとの流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「住みやすい町を次世代につなぐ」を 4 つの基本目標として、本町の地方創生に資する各種施策を戦略的に進めてきました。その結果、本町では令和 5 年 10 月に常住人口 5 万人を突破することができ、人口が増加している数少ない自治体となっています。

しかしながら、この間にも我が国の人口減少は続き、民間の有識者グループ「人口戦略会議」の発表によると、2050 年までの間に 744 の自治体で若年女性人口が半減し、最終的には消滅する可能性があるとした分析が公表されるなど、極めて深刻な状況にあります。

本町の人口が増加している要因は、近年の荒川本郷地区を中心とした人口の社会増が自然減を大きく上回るかたちで推移してきたことによるもので、町内における地域的な人口偏在はむしろ拡大傾向にあり、過疎地域にみられる問題が顕在化しつつあります。

このような、現在の社会課題及び将来の社会変化を見据え、デジタルの力も活用しながら、本町の個性や魅力を活かした持続可能なまちづくりを加速化・深化するために策定する「第 3 期阿見町総合戦略及び人口ビジョン」について、貴有識者会議の意見を求めるものであります。